

高島 徹平

Takashima Teppei

経験者 2022年採用

博多税務署 法人課税部門

常に成長し続けられる仕事が 国税にはある!!

Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

私は法人課税部門に所属しており、法人税や消費税等の税務調査、申告の相談及び指導を担当しています。税務調査では、実際に会社を訪問して、提出された申告書の内容が正しいかどうかの確認を行います。調査の際は、帳簿書類等の確認だけでなく、会社の代表者や経理担当者との会話を通じて取引の流れを把握したり、会社の事務所や倉庫等の現場を直接確認し、申告内容が適正か判断します。

多種多様な業種の会社を調査するため、税法に限らず、幅広い知識を身に付ける必要がありますが、調査を重ねるごとに自分が知らなかった業界の知識を習得することができ、自分自身の成長を実感できる仕事です。



Question

2

研修制度について教えてください。

採用後は、約3か月間の社会人基礎研修が実施され、税法や簿記会計学など税務職員として必要な基礎知識や、調査・徴収事務に関する基礎的知識を習得できます。学問的な内容だけでなく、教授や教育官が実際の職務で経験した臨場感あるエピソードも聞くことができ、具体的なイメージを持って税務署への配属の日を迎えられました。

様々な経歴を持った全国の同期と切磋琢磨しながら勉学に励んだ3か月は、何事にも代えがたい経験となり、私にとって大きな財産です。

転職して未経験の領域に踏み込む不安もありましたが、税務署に配属後も職務上必要な知識や調査手法を習得するための研修など、充実した研修制度があるおかげで安心して職務に励むことができます。



Question

3

転職した理由とポイントは何かですか。

前職では金融機関の融資業務と地方自治体での広報業務に携わっていました。それぞれの業務にやりがいを感じ、一生懸命務めていましたが、より高度で専門的な知識を必要とする職場で働きたいという思いから転職を決意しました。

税務職員は、専門的な知識はもちろん、強靱な精神力も必要とする職業であり、その厳しい環境に身を置くことが自分自身を成長させ、ひいては国の財政基盤を支えるという重要な役割の一端を担うことで、より充実した日々を送ることができるという考えから国税の職場を志望しました。



Message

税務の職場は堅苦しいイメージがありますが、仕事上の悩みや困難な事案に対して皆で解決しようという気風があり、何事も気兼ねなく上司や同僚に相談できる働きやすい環境です。

そのほか「働くときは働く、休む時は休む」といった雰囲気があり、メリハリのある生活を送ることができます。私自身も妻の出産に伴う約2週間の休暇を取得しました。

転職により、今までの経歴を投げ捨て「新人」に戻るのには大きな決断が必要だと思いますが、国税の業務は様々な分野の知識を必要とするため、前職で培った経験が活かされる場面が必ずあります。

一歩踏み出して、国税への扉をたたいてみてください!